

平成28年度 市貝町立市貝小学校 学校評価書

1 教育目標

さとく・・・きいてよくわかる子  
 やさしく・・・すなおで心豊かな子  
 たくましく・・・明るく元気な子

2 学校経営の方針

- (1) 知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、「生きる力」を備えた児童の育成に努める。  
 (2) 地域との連携を深め、地域の教育力を生かした特色ある学校づくりを推進する。  
 (3) 保護者、地域から信頼される教職員を目指す。

3 今年度の努力点 (◎は重点目標)

- (1) 「知」◎基本的な学習態度の育成と基礎的・基本的な知識や技能の習得 ◎「活用する力」を高める教育活動の工夫 ◎一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援 ○総合的な学習の時間の充実  
 ○外国語活動の推進 ○図書の整理と読書活動の工夫  
 「徳」◎教えて育てる道徳教育の充実 ◎共感的な児童指導の実践 ○人権教育・福祉教育の充実  
 「体」◎体力づくりの推進 ○健康教育・安全教育の充実 ○食育の充実  
 (2) ◎地域教育力を生かした教育活動の推進 ◎ふるさと学習の推進 ○家庭・地域・関係機関との連携  
 ○教育環境の整備 ○安全指導と管理の徹底  
 (3) ◎教職員の学校経営への参画と協働 ◎教職員の資質の向上 ○危機管理意識の高揚

4 評価

※評価指標の☆は、本年度の重点の評価指標、主な具体的評価指標の★は、本校独自の評価指標

※評価のSは優れている、Aは良い、Bはおおむね満足、Cは要改善（自己評価がCの場合は改善策を記入）

項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	達成状況 (○) と改善策 (△)	評価	成果 (○) と課題 (△)
教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気で見守り、児童は生き生きと生活している。 ・教職員は、責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。	①児童生徒や学校の実態保護者や地域の意見・要望を踏まえ、学校としての教育目標(重点化された目標)を適切に設定している。	A	○教育目標にプラスして「3あ運動」が設定されていることが、子どもの行動、教師の指導両面でとてもいい。	A	○地域の方のボランティア活動の協力が多く子どもたちにとっては素晴らしい体験活動となっている。 △豊かな体験活動は子どもにとって大切であり、マンネリ化を前面に出さなくてもよい。体験する児童は毎年違うので、少しずつ変えていくことがよい。
		②学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員の共通理解を図っている。	A	○年度当初に説明し共通理解を図っている。 △日々の活動の中で意識を図っていく。		
		③教育課程の実施に必要な各教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	A	○週案の時数を確認ができています。		
		④全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に運営している	A	○「道徳ノート」の活用を全校児童で行えた。 △道徳の教科化に向けて、次年度から本格的に進めていかなければならない。 △全教育活動との関連の整備を進めたい。		
		⑤部活動など教育課程外の活動を適切に運営している。	A	○各種コンクールに向け、最大限の努力がなされた。 ○職員はどの学校より熱心に指導に取り組んでいる。		
		★豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図っている。	B	○地域人材の活用がよい。コーディネーターの存在が大きい。 ○校外学習(町探検、神社見学等)では地域の方とふれあうことができた。 △ボランティアの方との打合せ時間の確保を図っていく。		
	外部アンケート	児童	A	保護者		

学習指導	・教職員は、児童に確かな学力を身に付けさせるために努力している	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努めている。	B	○めあてと振り返りは意識して授業を進めた。また、デジタル教科書の活用を多く取り入れたことは効果的だった。 △板書についてはさらに研究していく必要がある。	A	○100マス作文や習熟度別学習、話し合い活動の導入等の取組が素晴らしいので、これからも継続してほしい。  △道徳の教科化による評価は難しくなるのではないだろうか。研修を進めて行かなければならない。
		②T、Tによる習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、個に応じた指導を適切に実施している。	A	○どの学年も算数の習熟度別学習を取り入れ、個に応じた指導を行うことができた。 △3学期も算数の習熟度別学習を行う単元を決め、実施する。		
		③体験活動等を生かした道徳の授業を展開している。	B	○修学旅行、運動会等行事に合わせた道徳の授業を展開した。 △効果的な体験活動は紹介し合う機会を作ることも検討する。		
		④話し合い活動等を取り入れた学級活動を展開している。	B	○グループや班を決めたり、文集の内容決めたりするなど話し合い活動は効果的だった。 △話し合いの仕方をきちんと指導し実施させたい。		
		⑤各教科等で身に付けた知識や技能との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。	A	○国語、社会の学習と関連を図って展開した。 △総合的な学習の時間減に伴う対策を考えていく必要がある。		
		★基本的な学習態度の育成と基礎的・基本的な知識や技能を習得させている。	B	○基本的な問題を中心に授業を行った。学習態度は多くの児童が身に付いているが、個人差がある。 △鉛筆の持ち方、姿勢については継続して指導していく必要がある。		
		★「活用する力」を高める教育活動の工夫をしている。	A	○学習形態の工夫により、学び合いができるようになってきた。また、100マス作文や日記指導など書く活動が、表現力、言語力の育成に繋がった。		
外部アンケート	児童	A	保護者	A	○先生はわかりやすく熱心に指導している。また、TTの指導や個別指導をしてくれている。	
心の教育・道徳教育	・教職員は児童が豊かな心を育み、道徳的実践力が身に付くよに、心の教育及び道徳教育の充実に努めている	①教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりをとおして思いやりの心が育まれるように努めている。	A	○縦割り班活動での様々な体験活動を通して温かい人間関係づくりができた。 △数々の体験活動が人間関係づくりにどう役立っているのか、検証する必要がある。	A	○縦割り班での活動で子どもたちの間に思いやりの心が出てきていると思う。
		②道徳の時間の指導や日々の実践をとおして、児童が善悪についてしっかり判断してルールやマナーを守り、道徳的実践力が身に付くように努めている。	B	○毎週の道徳の授業を有効に使った。日常生活の中でも善悪の判断がつくように指導した。 △ルールとマナーの違いをしっかりと指導し、特にマナーについては家庭への協力をお願いする。		
外部アンケート	児童	A	保護者	A	○縦割り班での活動が多く違う学年とのふれあいがある。とてもよい。また、上級生が下級生の面倒をよく見ている。	
キャリア教育	・教職員は、児童が将来の生活によりよく適応し進歩する能力を伸ばせるように努めている。	①日記指導や日々の学級指導において、児童が自分の日常を振り返ったり、自分のよいところに気付いたり、伸ばしたい自分の姿や目標などを意識したりする機会を設けている。	A	○帰りの会等でよさを認め合う活動を実践し、自分のよさを気づかせた。 △伸ばしたい自分の姿を意識させる機会を設けていきたい。	B	△子どもたちが将来のことを考えるためには家庭の協力が必要ではないだろうか。
		②学級活動等の指導計画に、将来のことを考える学習を位置付け、自分の将来の夢や希望を目指して努力するよう指導に努めている。	B	○指導計画にキャリア教育の位置付けはされている。		
外部アンケート	児童	A	保護者	B	○様々な社会体験活動を積極的にしているので、将来のことを考える学習に繋がっている。	
児童指導	・教職員は児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	①全職員の共通理解の下に指導体制が整備されている。	A	○全職員が共通理解をして全校体制で協力し動くことができています。また、スムーズな連携もとれている。 △学校だけの対応では限界を感じることもあるので、外部機関に繋げ、情報を共有する必要があります。	B	○いじめ等の問題がないのは素晴らしい。職員の共通理解と教育相談やケース会議、すばやい報告等があるためだと思われる。
		②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に行っている。	A	○整理整頓、時間を守ることの指導をすることで徐々にその意識が高まってきている。 △継続的な指導を学校全体で行っていく必要がある。		
		③職員の共通理解を図り、児童の		○小さなことでも共通理解を図り、問題		

	問題行動に対する未然防止と指導に当たっている。	A	が大きくなる前に指導に当たっているため、大きな問題になっていない。		
	④教育相談を定期的に行い、児童理解に努めている。	A	○事前のアンケートをもとにした教育相談は効果的だった。また、児童の悩み等について全職員で共通理解することができよかった。	△3あ運動の一つ「あいさつ・あつまり」がよくなってきているようなので、これから「あとしまつ」への取組を進めてほしい。	
	★「3あ運動」を推進している。	A	○「3あカード」の活用は効果的で、あつまりが次第によくなった。 ○児童会を中心に3あ運動を進める活動がよくなった。 △あいさつ、あつまりの意識は出てきたので、あとしまつの意識の呼びかけを3学期に実施する。		
	★学級の雰囲気は温かく、児童が安心して学習や生活に取り組める人間関係づくりに努めている。	A	○お手本となる行動に対して学級全体で褒め合うなどすることにより温かな雰囲気児童が安心して生活できた。		
外部アンケート	児童	A	保護者		A
人権教育	・教職員は一人一人を大切に、児童が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①人権意識の高揚を図り、教育計画への適切な位置づけを行っている。	A	○人権週間の取組が意識付けになった。 ○「育てたい能力・態度」の項目を確認し、教育課程へ位置付けた。	A ○世界人権デーに合わせた人権に関する取組がよくなされている。
		②各教科等の特質に応じて「育てたい能力・態度」の育成に努めている。	A	○週案に記入し、意識して取り組んだ。	
		③教職員自らの人権感覚を磨く校内研修を継続的に行っている。	A	○校内研修がとても参考になった。 △人権デーを意識しすぎず、日頃より行うとすれば、人権週間は11月末頃でもよい。	
	外部アンケート	児童	A	保護者	
特別支援教育	・教職員は一人一人のニーズを把握し適切な教育的支援を行っている	①全職員の共通理解の下に校内支援体制を適切に整備している。	A	○特別支援の必要のある児童について、全職員で共通理解を図り指導に当たった。	A ○教育相談週間やケース会議等で特別支援が必要な子の共通理解がなされ全職員での指導がよい。
		②個別の指導計画を適切に作成し、共通理解と活用に努めている。	A	○個別の指導計画を全職員で共通理解を図り、清掃時の接し方など、よく褒めるよう気を配ることができた。	
		③医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。	A	○コーディネーターを中心にカウンセラーや医療機関に繋げることができた。	
		★一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援を行っている。	B	○共通理解のもと、適切な支援が行われている。 △一斉指導での学習が困難な児童への支援の仕方を考える必要がある。	
外部アンケート	児童		保護者	B	○児童一人一人の個性を認めつつも周囲への配慮や気持ちに立った考えがもてるように指導を強化してほしい。
保健・健康教育	・学校は、児童及び教職員の健康の保持増進に努めている。	①児童を対象とする保健（薬物乱用防止、心のケア等を含む）に関する体制を整備している。	A	○薬物乱用教室、親子で聞く命の話、歯口腔の健康講話など外部講師を招いて健康教育は有効だった。 △薬物乱用防止きらきら号を5・6年生が隔年で行う計画も考えたい。	B ○親子で聞く命の話、歯口腔の健康講話など外部講師を招いて健康教育はとてもよい。  △食育は家庭の協力が大切なので啓発をする必要があると思う。
		②日常の健康観察や疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。	A	○毎日の健康観察がよくできている。 △自分の健康だけでなく、友達の健康にも配慮できる心の育成をする。	
		③健康診断を適切に実施し、事後処置の徹底を図っている。	A	○5年生の生活習慣病検診への事後指導はとても手厚く、一人一人の児童、保護者にとって有意義であった。	
		④環境衛生検査を適切に実施し、事後措置の徹底を図っている	A	△毎月、時間をとり指導しているが、改善が見られない児童がいる。	
		⑤食育に関する指導を各学年の年間指導計画に位置付け、適切に実施している。	A	○食育指導は栄養教諭による学活指導を取り入れ効果があった。	
		★教科体育及び教育活動全体の中で、効果的な体力づくりを実践し	A	○新体力テストから本校の児童が落ちているところを把握し、指導に役立てた。	

		ている。			△天気の良い日には、全員外遊びをするよう声かけを行う必要がある。			
	外部アンケート	児童	A	保護者	B	○運動をもう少し取り入れたりスポーツをもっと盛んにしたりしてはどうか。		
安全管理・安全教育	・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①学校事故等の緊急時に適切な対応ができるような危機管理マニュアルを作成・活用している。	A			○緊急電話連絡網を作成した。 △定期的に緊急時の対応について確認する機会を作る。	A	○児童の安全確保のために、これからは様々な訓練の実施をお願いしたい。
		②安全点検（通学路を含む）を組織的・計画的に実施し、危険を防止するための措置を講じている。	A			○通学路の安全確認を行い、町等への働きかけを行っている。 △教員と児童と一緒に点検を行うなど、子ども目線からの点検ができるとよい。		
③防災・防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めている。		A			○係の計画のもとスムーズな避難ができている。 △訓練のときから自分で状況判断できるよう指導する必要がある。			
	外部アンケート	児童	A	保護者	B	○引き渡し訓練や避難訓練などこれからも継続的に実施してほしい。		
組織運営	・教職員は一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	①教育目標の具現化に向けて、職員が共通理解の下、協力して取り組むよう努めている。	A			○教育目標具現化のため、協力・協調して取り組んでいた。	A	○校長先生を中心に教育目標具現化のための取組が素晴らしい。
		②校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。	A			○役割分担をして取り組み校務分掌どおりに機能している。 △校務分掌がかたよりが見られる。		
③各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。		A			○データ管理等、マニュアルどおりに行っていた。 △各種文書や情報等は規定のファイル・フォルダーに入れる事を徹底する。			
	外部アンケート	児童		保護者				
研修・資質の向上	・教職員は定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	①校内の研究組織や体制を整備している。	A			○各系の計画に沿って、研修を行うことができた。	A	○評議員会で授業参観をしたが、先生方の授業研究会が行われていると聞いて素晴らしいことだと思う。
		②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。	A			○1人1研究授業や相互授業参観が計画的に行われ、研究授業で学んだことを自分の授業で取り入るよう努めた。 △相互授業参観を少しの時間でも見られるよう各自工夫する必要がある。		
③研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。		B			○研修内容を伝達したり校務に生かしたりするように努めた。			
★校内研修が充実し、教職員の資質の向上に役立っている。		A			○授業研究会や出張報告等充実していて、資質の向上に繋がっている。			
	外部アンケート	児童		保護者				
学校評価	・学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	①学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。	A			○個人としてのかかわり方を考え、評価している。	A	○児童・保護者へのアンケートを実施し、結果を学校運営に生かすよう努めている。
		②外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。	A			○児童や保護者、地域住民の声を把握し、自己評価の参考に役立てた。		
③学校関係者による主体的能動的な評価が年1回以上定期的に行われている。		A						
	外部アンケート	児童		保護者				
情報提供	・学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報を公開している。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分に分かりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A			○メール配信による情報提供はとてよ良かった。	A	○学校だよりやホームページでの情報公開はとてよよい。
		②学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの公開、メール配信等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A			○ホームページを毎日更新をしていることは、保護者にも学校の様子がわかりやすいものになっている。 △地域に学校のことを知らせるのに、学校だよりを自治会の回覧に載せてもらう。		

	外部アンケート	児童	A	保護者	A	○学校の活動をホームページでこまめに伝えているので、学校の様子がよく分かる。		
保護者・地域住民等との連携	・学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	①地域住民から得られた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	○地域住民から要望や意見があれば対処している。		○地域との連携がよくなされ教育効果を上げていると思う。		
		②保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に取り入れている。	A	○授業参観や学校行事への参加を学年・学校だよりや文書で積極的に行った。 △自由参観日の回数が多い。時間も午前中だけでよい。				
		③地域の人々と交流する機会を設けたり、授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用したりしている。	A	○学校支援ボランティアの協力が多く、教育活動に生かされている。 ○シニアアクティブクラブの方の協力を得るなど地域人材の活用ができています。				
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	○奉仕活動やふるさと学習等で地域の方やボランティアの方がとても協力的である。		
教育環境整備	・設置者と連携して、児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている。	①施設・設備を有効に活用している。	A	○デジタル教科書の活用は教育効果を上げることができている。 △子どもたちのためにも省エネ、省資源に努める必要がある。		○奉仕作業等で保護者だけでなくボランティアの協力が得られて環境整備がよくなされている。		
		②教材・教具・図書の整備を適切に行っている。	A	○図書ボランティアによる図書室の整頓はたいへんありがたい。 △教材・教具は整備されているが、活用について研修が必要である。				
		③学習・生活環境の充実のための取組を行っている。	A	○保護者やボランティアに環境整備の協力が得られよい学校生活を送れている。				
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	○自然が豊かで環境がすばらしい。その環境整備に保護者や地域のボランティアが協力してくれるのでこれからも続けていければよい。		

## 5 学校運営についての意見

内部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由参観日は午前中だけでよい。</li> <li>地域に学校のことを知らせるのに、学校だよりを自治会の回覧に載せてもらおうと更に理解が深められると思う。</li> <li>他の児童とうまくかかわれない児童のために1日1時間でも、支援学級や取り出し授業でストレスを発散させる時間を設けることはできないか。</li> <li>安全点検は教員と児童が一緒に点検を行ってはどうか、子ども目線からの点検ができるとよい。</li> </ul>
児童・保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育環境に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>自然が豊かで校庭が広いなど環境がよいので、更に花壇やフラワーロードの整備を充実させてほしい。</li> </ul> </li> <li>○児童の様子について <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつがよくでき、明るく素直でのびのびしている児童が多い。</li> <li>登下校時の地域の方へのあいさつの徹底や登下校時の安全確保を更に図ってほしい。</li> </ul> </li> <li>○学校の取組について <ul style="list-style-type: none"> <li>体験的な学習や地域連携、保護者と連携した行事が充実している。</li> <li>スクールカウンセラーの相談日の増、ヘルメットの着用見直し、読書指導の充実と司書教諭の配置などであるととてもよい。</li> </ul> </li> </ul>
学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動や総合的な学習はこれからも重要になってくるので、更に充実させていく必要がある。</li> <li>100マス作文はとてもよい取組なので継続して行ってほしい。特に、書くことがこれから必要になってくる表現力・発表力につながることになる。</li> <li>市貝小の児童指導上の問題がないのはすばらしい。共通理解の場、教育相談の実施、ケース会議の開催等での問題行動未然防止のための対策がよくなされている。</li> <li>3あ運動の取組が児童会を中心に活動していてすばらしい。</li> </ul>

## 5 次年度へ向けて

<ul style="list-style-type: none"> <li>自由参観日は学期に1回、年に3回でミニ発表会を行うときだけにしていすが、削減する代わりに、学年の行事があるときには保護者に参観を呼びかける。</li> <li>交通安全教室や避難訓練は1学期の行事が多い時期に実施していたので、5月に行っていた防犯教室を10月に移行していく。</li> <li>100マス作文での書く機会を増やし、時間内に書ける児童が多くなってきたが、条件作文や教材の発掘をして更に充実したものにしていく。</li> <li>地域教育コーディネーターの方に協力を得て有意義な活動ができているが、地域資源の更なる活用をしていく。</li> </ul>
---